

授業シラバス

詳細情報

2011-2010000448-01

科目名「クラス名」(サブタイトル)	期別	単位数	開講年次
政治学原論	前期	4	2
担当教員	廣澤 孝之		

概要

現代政治を理解する上で必要な基礎理論について講義する。現代政治学は、行動論革命以来大きく進歩した実証的・計量的分析を重視するとともに、伝統的な規範的考察の重視という難しい課題を抱えている。この講義ではこうした点に留意しつつ、諸学説を網羅するのではなく、現代政治の理解に必要な諸理論をできるだけ平易に解説する。具体的には権力論、リーダーシップ論、政治責任などの政治原論にかかる部分と、政治制度、政治過程、公共政策など現代政治の動態的分析にかかる部門に分けて講義を行う。今年度はとくに現代の民主政論について詳述することにしたい。

到達目標

複雑化し既存の価値観では容易に把握しがたい現代政治について、幅広い観点から理解し、狭い価値観にとらわれることなく理解を深めることがこの講義の目的である。

成績評価基準および方法

平常点40%(平常点はノート・レポート提出等による)と定期試験60%の総合評価とする。

テキスト

廣澤孝之著『政治学読本』法律文化社、2010年、ISBN978-4-589-03226-3

授業計画

- 第1回 序論
- 第2回 「政治」の概念
- 第3回 権力論
- 第4回 支配と正統性
- 第5回 イデオロギー
- 第6回 政治文化論
- 第7回 ファシズム
- 第8回 リーダーシップ
- 第9回 公共の利益
- 第10回 近代政治原理(1)
- 第11回 近代政治原理(2)
- 第12回 民主政の展開
- 第13回 政治体制
- 第14回 現代世界の民主政
- 第15回 大統領制と議院内閣制
- 第16回 政党
- 第17回 選挙
- 第18回 官僚制
- 第19回 利益集団
- 第20回 地方分権
- 第21回 ナショナリズム
- 第22回 公共政策(1)
- 第23回 公共政策(2)
- 第24回 福祉国家論
- 第25回 グローバル・デモクラシー
- 第26回 貧困の克服
- 第27回 平和研究
- 第28回 現代政治の課題(1)
- 第29回 現代政治の課題(2)
- 第30回 結論